



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団
ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

第1回定例会
市議会

2月9日に一般質問

市長が施政方針演説

2月3日、2009年度
第1回定例会市議会が開会し、
冒頭に豊田稔市長が施政方
針演説をおこないました。

市長は、今日の情勢につ
いて「世界経済の減速によ
る企業収益の減少傾向に加
え、雇用情勢も悪化しつづ
え、個人消費も伸び悩ん
でいる」と分析。本年度の
予算編成にあたっては「市

税・地方譲与税などが減額、

地方交付税の若干の増額が
あるものの、財源不足の状
況に変わりはなく、基金か
らの繰り入れなどにより、
福祉・教育の充実を重点に、
市民生活に密着した予算を
編成」と強調しました。

具体的な施策として、市
総合計画の6本の柱と市長
マニフェストを中心に説

明しました。特徴的な点を
紹介します。

①行財政・市民参加 第

3次行革の一環として、受
益者負担の観点から火葬料
金の有料化などが盛り込ま
れています。今議会で条例
案も出されていることから、
市民の議論を呼びそうです。

また日曜開庁の検討、公共
交通活性化検討委員会の立
ち上げを提起しています。

②健康・福祉の増進 新

市立病院の検討委員会の設
立と、医師修学資金の貸与

制度があがっています。

③教育・文化・コミュニ

ティの振興 学校の適正配
置に係る実施計画の策定に
言及し、また学校給食では
「まい箸・マイスプーン」と
月2回の弁当持参を提起し
ています。

④都市基盤の整備、⑤生

活環境の整備・自然環境の
保全 ハザードマップの作
成をすすめることを明らか
にしました。

⑥地域産業の振興 飼料

米などの作付けを全市的に
奨励し、循環型農業推進と
稲作農家の経営安定に寄与

したいとしています。

最後に、「人口減少社会の
到来でいつそう厳しい状況
が続く。深刻な財政問題、
さらに新市民病院やゴミ処
理施設の建設など、本市の
行方を大きく左右する課題
が山積するなか、市民が安
心して住めるまち、夢と希
望のもてるまち北茨城市の
具現化に向けて取り組む」
と結びました。

問

市議会での一般
質問は、2月9日
(月曜)に予定さ
れています。日本
共産党市議団の質
問項目は次のとお
りです。

一

質

○鈴木やす子(5番目)

・生活保護、国保減免
・乳幼児医療費無料化

・市立病院の診療

・通学路整備

○福田明(6番目)

・雇用対策

・市立総合病院

・介護保険

・市内巡回バスの土日運行

市内の雇用促進住宅が入居可能に

党市議団の緊急申し入れ↓市長指示↓担当課の奮闘

日本共産党市議団が市長
に提出した「暮らし・雇用・
経営を守るための緊急要望
書」については前号でお伝え
しました。このなかで雇用
促進住宅の活用を提案し、
市内の雇用促進住宅がある
にもかかわらず入居できな
い実態を伝え、対応を求め
ました。さっそく市長は、
事態を調査し、入居できる
よう働きかけることを担当
課に指示しました。

2期に分けて廃止すること
を計画し、このうち前期分
とした住宅には入居を認め
ない方針でした。市内に3ヶ
所ある促進住宅は、いずれ
も前期分の廃止計画に区分
されていたために、入居が
認められないでいました。
それが今回、入居が可能に
なったことは、前号で速報
したとおりです。

雇用促進住宅は、独立行
政法人や県が管理している
ことになっています。しか
し実際の運営は、(財)雇用
振興協会がおこない、さら
に入居の申し込み窓口はハ
ローワークだそうです。な
んとも複雑な仕組みのなか、
市では交渉を重ねました。
ハウスクリーニングなど
を済ませなければ入居不可
としているものを、北茨城
の住宅の場合は傷みのない
住宅もあり、弾力的な運用
によって入居できるよう
との交渉もおこないました。
そうした市の担当課のねば
り強い働きかけがあって、
今回の入居許可につながっ
たこともあわせて紹介する
させていただきます。



大波

(2月1日、平潟港)



太杉

10tトラックの荷台がいっぱいになるほどの巨木。樹
齢は500~600年とか。大きなウロができていました。
(2月3日、磯原町上相田の塩竈神社)